

## 中井町生涯学習融合施設(仮称)建設事業自治会説明会・地域懇談会

### 概要

#### 1. 事業の進め方・プロセスについて

##### 【問】

- ・ 業者との随意契約や「わいがやサロン」の進め方に疑問がある。町長の知り合いとの噂もあるが、プロセスの透明性はどうなっているのか。
- ・ 設計が済んだ後に「わいがやサロン」、そしてその後に地域懇談会が行われたが、現段階で意見を言っても反映されないのではないか。
- ・ 町民から議会へ提出された陳情書が全会一致で可決されているが、このまま進むのか。議会に通していないものを進めるのはおかしい。
- ・ この事業を「わいがやサロン」をもって決定したと言っていいのか。公的なみんなが納得できる決定機関を設けていないのが不安。

##### 【答】

- ・ 随意契約は地方公共団体として認められた手法であり、業者の実績と能力を評価して判断した。業者は議員時代から着目していたが、私的な知り合いではない。プロポーザル(設計者選定)においても公正公平・透明性を確保しており、適切な体制であると認識している。
- ・ 「わいがやサロン」の取り組みは基本構想・計画を町民の声でつくろうという取組み。令和7年度は設計作業と並行して実施し、決定された部分はあったが軌道修正できる状況をつくった。これまで挙げた意見を受け止め、合意や納得感が無いところで進めるのは難しいため、今後どういった対応が必要かは再吟味する。
- ・ 議会の理解をえながら進めて、7年度の予算をつけていただいた上で今年度は事業を進めてきた。来年度予算については3月に議決していただければ町の事業としては進めない。
- ・ 使う人、活動する人の意見をしっかり受け止めていこうという中で「わいがやサロン」を決定機関としたが、みなさんが納得できる機関を設けるべきである意見をいただいている中で、あらためて再考する。

#### 2. 事業の優先順位と再検討について

問: 少子高齢化で学校の統廃合や学校施設の老朽化が課題となっている。子どもたちのためはもちろん、災害時の避難場所にもなっている。学校施設の問題を先にやるべきではないか。一旦立ち止まって再検討すべきだ。

答: 学校については令和7年度に「教育ビジョン」を策定し、令和8年度からあり方を検討する組織を立ち上げて、1中2小をどうしていくか検討を始める。確かに学校施設は大分老朽化しているが、必要な修繕は適宜行っており、空き教室の活用やプール授業の外部委託などを行い、あり方を検討する間、子ども達が気持ちよく生活できる学校環境を整えている。

### 3. 財政負担と将来世代への影響について

問:建設後のランニングコストや、多額の費用が将来の負担にならないか不安。

答:約 20 億円を町債で借入し、20 年間で返済していくことで、後年度負担も含めて財政を平準化する。補助金も活用していく中で、町の年間予算である一般会計からは 1 億円にいたらない金額を使いながら、全体のサービスを落とすことなく施設を建設していく。金額的には大きいですが、賄える額であると理解している。ランニングコストについては、改善センターは約 800 万円かかっており、生涯学習施設については維持費、委託料、使用料などを合わせて約 2,500 万円で見込んでいる。ちなみにこの金額にはまだ人件費が含まれておらず、今後適材適所な人員配置を定める中で算出していく。

### 4. 施設の規模感について

問:人口が減少していく中で、身の丈にあった規模をオーバーしているのではないか。改善センターの老朽化やバリアフリー化が理由なら、後付けのエレベーター設置や耐震補強で対応できるのではないか。なぜ新築なのか。

答:規模については「わいがやサロン」などを通じて基本構想・計画をまとめた中で出てきた数字であり、議論の中で必要最低限の数字に留めながら、積み上げで必要面積などを出していった。改修も検討したが、現在の敷地設定(役場庁舎との一体設定)では、同じ場所に増改築すると将来の役場庁舎建て替えができなくなる制約があるため、施設建設とした。

### 5. 防災機能と安全対策について

問:施設を1か所にまとめて、災害が発生した時に対応できるのか。防災機能をどう確保するのか。防災倉庫を別途つくるとあったが、この施設自体には備えないのか。

答:盛土を行い、図書や郷土資料を2階に設置することで浸水リスクを軽減する。非常用電源により、停電時もホール、和室、トイレなど約 72 時間稼働できる形で設計を進めている。一時避難場所としての機能を備え、平常時から災害時まで対応できる「フェーズフリー」な設計とする。

## ■比奈窪自治会説明会①

1. 開催日時 令和7年12月23日(火)19時00分から20時50分

2. 開催場所 農村環境改善センター 2階 研修室

3. 参加人数 14名

4. 主な意見

- ・ これまでのプロセスに疑問を感じている
- ・ 学校施設の修繕や統廃合を優先すべき
- ・ 建設を一旦立ち止まり、再検討してほしい
- ・ ランニングコストが知りたい、将来の負担が増えるのでは
- ・ 説明会のタイミングが遅い、説明が不十分
- ・ 災害時にはどのように活用できるか。災害対策は十分にできるか
- ・ 雨水排水の計画は適切か

## ■地域懇談会①

1. 開催日時 令和8年1月22日(木)19時00分～20時35分

2. 開催場所 境コミュニティセンター 生涯学習室

3. 参加人数 14名

4. 主な意見

- ・ 陳情の内容はどのように反映されているのか
- ・ 身の丈に合っていない施設ではないか、規模を縮小すべき
- ・ 予算が可決されていない中、任期付職員の採用活動がなぜできるのか
- ・ 施設建設が中村地区の活性化にどうつながっていくのか
- ・ ランニングコストがかなりかかるのでは
- ・ 周辺自治体との広域連携で施設機能は補えるのではないか
- ・ 選挙の公約で改築と言っていたのと矛盾する
- ・ 道路や学校など優先すべきことがあるはず

## ■地域懇談会②

1. 開催日時 令和8年1月27日(火)19時00分～21時20分

2. 開催場所 農村環境改善センター 2階 研修室

3. 参加人数 63名

4. 主な意見

- ・ どうしてこんなに規模が大きくなったのか
- ・ 身の丈に合った施設なのか
- ・ 反対意見を言う人はわいがや等に最初から参加すれば良かった
- ・ 人口が少ないことを理由に施設の規模を小さくするのか
- ・ 中井中央公園があればみんなの広場などはいらないのではないか
- ・ この規模の事業を町民ワークショップで決めていいのか
- ・ 将来の負担を背負う若い人たちの意見をもっと聞いて欲しい

- ・他の計画への影響を考えてほしい。維持費も含めて将来どうなるのかの説明が無い
- ・立ち止まった際の具体的な方法は

### ■地域懇談会③

- 1.開催日時 令和8年1月28日(水)19時00分～21時10分
- 2.開催場所 井ノ口公民館 2階 研修室
- 3.参加人数 48名
- 4.主な意見
  - ・生涯学習施設建設後に学校施設に着手できる根拠となるものはあるか
  - ・夜の懇談会に出席できない世代も多くいる。昼間の開催なども検討すべき
  - ・町民投票で賛否を問うべき
  - ・オンデマンドの土日運行などにお金をつかってはどうか
  - ・多自治体と比較しても事業費がかなり高額
  - ・近隣自治体の施設を使えばよい
  - ・これまでかかった経費はどのくらいか

### ■比奈窪自治会説明会②

- 1.開催日時 令和8年2月10日(火)19時00分から20時10分
- 2.開催場所 農村環境改善センター 2階 研修室
- 3.参加人数 11名
- 4.主な意見
  - ・立ち止まり、検討委員会を設置するという判断を高く評価したい
  - ・付近の交差点安全対策を検討しているか
  - ・交通結節点をつくらずとも、停留所だけじゃダメなのか
  - ・検討委員会へ比奈窪に関連する人を入れてほしい
  - ・一日も早く町民が納得するような意見を出さなきゃダメ
  - ・工事に伴う周辺への影響を今後説明してほしい

### ※ 全体を通じて多かった意見

- ・学校施設の修繕、統廃合、その他施策が優先されるべき
- ・町民への説明が不足している
- ・ランニングコストなど、財政面で維持できるのか不透明
- ・規模の縮小など計画の見直し、立ち止まりが必要では
- ・防災面での用途が分かりづらい、もっと活用してほしい